

7月 小牧市少年センター補導員からの報告 2026年

問題行動

不審者情報

気になる遊び・行為

7月21日(火)午前中、北里市民センターの人から、中学校に「市民センターのロビーでボール遊びをしている子供たちがいる」と連絡があった。子供達には公共の場所でのルールを話したとのこと。

正したい交通マナー

改善したい地域環境

小牧駅北側にある駐輪場に向かう横断歩道が、陽が沈むと暗くて歩行者が見えにくいです。歩行者が多数通行します。街路灯の設置を希望します。

⇒措置 市役所道路課に対し、街路灯設置の要望を伝えたところ「区長による街路灯設置要望の提出をしてもらえば検討します」とのことであり、区長に相談し、申請予定。

名神三ツ渚交差点から、高速道路の高架下が、暗くて見通しも悪く危険である。

三ツ渚北保育園、ファミリーマート小牧三ツ渚店の交差点から西方向、東方向の歩道が狭い。特に東側は、ガードレールがない。

7月10日街頭活動中公園で、お菓子の外袋、ペットボトルのポイ捨てされているものを10リットルゴミ袋いっぱいになるくらい拾いました。

ちょっといい話

6月25日午後1時頃、中央5丁目交差点で信号待ちしていた女子中学生4人が、交差点の反対側で泣いていた男児を「大丈夫かなあ?」と心配していた。信号が青になり男児が泣きながら自転車をこいで去ったので、中学生が声をかけることはなかったが、心配していた様子が微笑ましかった。

その他

7月10日午後7時30分から、午後8時30分頃、街頭活動中公園で、保護者同伴で遊ぶ児童や、外で遊ぶ児童に多数で会いました。「日中は暑いので、今遊んでいる」とのことでした。(味岡校区)

7月10日街頭活動中、法華寺公園の電灯がついておらず、真っ暗でした。⇒その後管理者に連絡し対応をお願いしました。(味岡校区)

6月30日午前7時「笑顔でさががけあいさつ運動」にて、応時中学校で参加。昨年より目を見てあいさつする生徒が増えた印象です。

村中地区での痛ましい事故で、皆ショックを受けています。

① 三ツ渚方面に帰ってくる小学生の中に通学路以外の道を通して帰宅する子どもを見かけました。中学生も細い道から自転車で抜けてくるような子も見かけるので、通学路の再確認の必要性は感じました。中学生は大筋であるにしろ、細かいところまではあるようで、ないような気がします。

② 小学生は通学団で登校されていると思いますが、通学団が塊になっておらず、押しボタン式の横断歩道で、前の生徒がボタンを押して渡るのですが、後ろの生徒が横断歩道を渡る頃には、赤色に変わってしまい、通学団が一度で渡り切れない状態を何度か見かけた。

いつの時代もそうですが、集団登校する意義が小学生の子どもたちには、中々理解できず、今回の事故で初めてその意味を理解できた子も多いと思います。

今回の事故は、運転手の不注意が最大の原因ですが、小さい不運(横断歩道で転んだことや、班の児童が通学団との距離が少し離れてしまったこと)が重なり起こってしまった。そのことを忘れず、すべての立場の人間が気を付けるしかない。小中学生も、大人も周りをよく見て気を付けることでしか防ぐ方法はないと思う。